

平成30年度  
武田学園 事業報告書



学校法人 武田学園

# 平成30年度武田学園事業報告書

## 目次

I. 法人の概要	1
1. 武田学園の教育	1
2. 沿革	2
3. 設置校及び所在地	6
4. 役員	6
5. 学生数	7
6. 教職員数	7
7. 組織概要	8
II. 事業の概要	9
1. 認証評価	9
2. 教育研究活動	9
3. 国際交流	12
4. 地域連携	12
5. キャンパス整備	13
6. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況	14
III. 財務の概要	19
1. 財産目録	19
2. 貸借対照表	20
3. 収支計算書	21
4. 監事の監査報告書	26

## I. 法人の概要

### 1. 武田学園の教育

#### 建学の精神

第二次大戦後の混乱の時代にあつて故武田ミキは、日本の再建のためには「真実に徹した堅実なる女性」の育成こそが急務であると強く感じ、永年の女子教育の経験を生かし、不動の信念と堅い決意をもって、昭和 23 年に本学園を創立しました。

日本女性の持つ伝統的な礼節・慈愛・勤勉という特性を高揚・伸長し、社会風潮に流されることなく、正しく 強く 明るく 生きぬく女性を育成すること、これが本学園の建学の精神です。

#### 学園訓

- 一、真理を究め正義に生き勤労を愛する人になりましょう。
- 一、責任感の強い逞しい実践力のある人になりましょう。
- 一、謙虚で優雅な人になりましょう。

#### 教育方針

学園は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、建学の精神及び「心を育て 人を育てる」という建学の理念に則り、現代社会を支える学問の基礎・基本となる教養と時代の変化・発展に対応できる専門的学問を教授研究し、深い知識と高い識見と豊かな人間性を養い、もって社会の要請に答え得る人間の育成を目的とします。

#### 教育目標

学園は、その理念・目的を踏まえつつ、それぞれの専門的な立場から「正しい判断力とたくましい実践力を身につけた」人材の養成を目指しています。

## 2. 沿革

昭和23年 3月31日	広島県可部女子専門学校設立認可 設立者武田ミキ校長となる。
昭和23年 4月15日	広島県安佐郡亀山村四日市699番地（高宮中学校内）において同校開校
昭和27年 7月15日	私立学校法第31条の規定に基づき学校法人武田学園設立認可
昭和31年12月21日	広島県可部女子高等学校（全日制家政科）設置認可
昭和32年 4月 8日	広島県可部女子高等学校 開校、武田ミキ校長就任
昭和37年 1月20日	可部女子短期大学（被服科入学定員40人，収容走員80人）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和37年 3月31日	広島県可部女子専門学校廃校
昭和37年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字中島1810番地において可部女子短期大学開学
昭和39年 1月17日	可部女子短期大学に食物栄養科食物専攻，栄養専攻設置認可
昭和39年 2月24日	可部女子短期大学食物栄養科に，「中学校教諭二級普通免許状（家庭）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和39年 3月31日	可部女子短期大学食物栄養科栄養専攻を栄養士養成施設として指定される。
昭和39年 4月 1日	可部女子短期大学食物栄養科開設
昭和40年 1月25日	可部女子短期大学に国文科，英文科設置認可
昭和40年 2月22日	可部女子短期大学国文科，英文科に，「中学校教諭二級普通免許状 国文科に国語，英文科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和40年 4月 1日	可部女子短期大学国文科，英文科開設
昭和41年 1月25日	広島文教女子大学文学部（国文学科，英文学科）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和41年 4月 1日	広島文教女子大学文学部国文学科，英文学科に，「高等学校教諭二級普通免許状，中学校教諭一級普通免許状 国文学科に国語，英文学科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和41年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字上原1238番地において広島文教女子大学開学
昭和41年 4月 1日	「可部女子短期大学」を「広島文教女子大学短期大学部」と校名変更
昭和42年12月28日	短期大学部食物栄養科「栄養専攻」を「食物栄養専攻」と専攻名変更
昭和44年 2月 8日	短期大学部食物栄養科食物専攻に，「中学校教諭二級普通免許状（保健）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 1月21日	短期大学部に幼児教育学科設置認可
昭和45年 1月24日	短期大学部幼児教育学科を「保母」養成施設として指定される。
昭和45年 2月13日	短期大学部幼児教育学科に，「幼稚園教諭二級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 2月26日	短期大学部の「国文科」を「国文学科」に，「英文科」を「英文学科」に，「被服科」を「服飾学科」に，「食物栄養科」を「食物栄養学科」に，学科名変更認可
昭和45年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科開設

昭和46年 4月 1日	安佐郡可部町大字上原に広島文教女子大学附属幼稚園 開園
昭和51年 3月29日	広島文教女子大学及び広島文教女子大学短期大学の聴講生の課程に、教員免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和51年4月1日）
昭和53年 4月 1日	短期大学部服飾学科を「2級衣料管理士」養成大学として認定される（社団法人日本衣料管理協会）。
昭和56年 1月16日	文学部に初等教育学科設置認可
昭和56年 2月10日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、「小学校教諭一級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期、昭和56年4月1日）
昭和56年 4月 1日	文学部初等教育学科開設
昭和58年11月19日	武田学園創立35周年記念式典挙行
昭和60年 2月 9日	広島文教女子大学文学部国文学科に、「高等学校教諭二級普通免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和60年4月1日）
昭和60年 3月26日	大韓民国全州教育大学と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ
昭和61年 3月18日	広島文教女子大学大学院設置認可 文学研究科国語学国文学専攻（修士課程）
昭和61年 4月 1日	広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻開設
昭和62年 3月18日	大学院文学研究科教育学専攻（修士課程）増設認可
昭和62年 4月 1日	大学院文学研究科教育学専攻開設 広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻に、「高等学校教諭一級普通免許状（国語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和62年4月1日）
昭和63年 4月 1日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、小学校教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための聴講生の課程認定（適用時期 昭和63年4月1日）
昭和63年 5月24日	中華人民共和国大連外国語学院と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ。
平成元年 2月14日	文学部初等教育学科に、幼稚園教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成元年4月1日）
平成元年 4月 1日	文学部に、社会教育主事課程設置
平成元年 4月 1日	文学部に、学芸員課程設置
平成元年 4月 1日	短期大学部「服飾学科」を「生活科学科」に名称を変更
平成 2年 2月20日	大学院文学研究科教育学専攻に、「小学校教諭専修免許状及び幼稚園教諭専修免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成2年4月1日）
平成 2年 4月 1日	短期大学部食物栄養学科食物専攻学生募集停止
平成 3年12月20日	短期大学部食物栄養学科「入学定員50人 収容定員100人」に変更認可（変更時期 平成4年4月1日）
平成 4年 4月 1日	食物栄養学科の専攻課程廃止
平成 5年 3月19日	大学院文学研究科 英米文学専攻（修士課程）増設認可 大学院文学研究科英米文学専攻に「中学校教諭専修免許状 外国語（英語）、高等学校教諭専修免許状 外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成5年4月1日）
平成 5年 4月 1日	大学院文学研究科英米文学専攻開設

平成 6年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科学生募集停止
平成 7年12月22日	短期大学部専攻科栄養専攻（修業年限2年）の設置が文部省において受理される。
平成 8年 1月29日	短期大学部専攻科栄養専攻は学位授与機構が定める要件（学位規則第6条第1項）を満たす専攻科として認定される。
平成 8年 4月 1日	短期大学部専攻科栄養専攻開設
平成 8年 5月28日	短期大学部幼児教育学科を廃止
平成11年 3月19日	文学部国文学科，英文学科に「高等学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』『書道』，英文学科に『英語』，中学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』，英文学科に『英語』」，初等教育学科に，「小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成11年4月1日）
平成11年 5月31日	4年制大学の充実を図るため「文学部国文学科，英文学科」及び「短期大学部国文学科，英文学科」の学生募集を平成12年4月から停止して，新たに「人間言語学科（入学定員120人，編入学定員10人），人間文化学科（入学定員120人，編入学定員10人），人間福祉学科（入学定員100人，編入学定員20人）」の新設を設置申請
平成11年 7月28日	新学科設置申請認可 人間言語学科 入学定員120人，編入学定員10人，収容定員500人 人間文化学科 入学定員120人，編入学定員10人，収容定員500人 人間福祉学科 入学定員100人，編入学定員20人，収容定員440人 （開設時期 平成12年4月1日）
平成11年 8月 5日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出
平成11年10月29日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出受理（変更時期 平成12年4月1日）
平成11年12月24日	司書教諭講習科目の相当する授業科目開設について届出受理（開設時期 平成12年4月1日）
平成12年 2月29日	人間科学部人間言語学科に「高等学校教諭一種免許状，中学校教諭一種免許状，国語コースに（国語），英語コースに（英語）」人間文化学科に「高等学校教諭一種免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成12年4月1日） 学部名「文学部」を「人間科学部」に名称を変更
平成12年 4月 1日	既設の文学部国文学科，英文学科（2学科は平成12年4月学生募集停止）のほか，人間科学部に，人間言語学科（入学定員120名，編入学定員10名），人間文化学科（入学定員120名，編入学定員10名），初等教育学科（入学定員80名），人間福祉学科（入学定員100名，編入学定員20名）開設。 短期大学部は，既設の国文学科，英文学科（2学科は平成12年4月学生募集停止），生活科学科，食物栄養学科となる。
平成12年12月21日	人間科学部人間福祉学科に「高等学校教諭一種免許状（福祉）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成13年4月1日）
平成13年 5月29日	短期大学部英文学科を廃止
平成14年 4月 1日	人間科学部に心理学科（入学定員70名，編入学定員10名），人間栄養学科（入学定員70名）開設 短期大学部生活科学科，食物栄養学科の学生募集を停止する。
平成14年 5月 7日	大学院文学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「臨床心理士」受験資格に関する指定（第2種）を受ける（指定時期 平成15年4月1日，ただし協会指定運用内規により平成14年4月1日から遡及適用）。

平成14年 5月29日	短期大学部国文学科を廃止
平成15年 5月12日	短期大学部生活科学科を廃止
平成16年 4月 1日	人間科学部人間文化学科の学生募集を停止 人間言語学科（入学定員70名，編入学定員10名）に再編成 短期大学部専攻科栄養専攻の学生募集を停止
平成16年12月22日	文学部国文学科を廃止
平成17年 3月29日	人間科学部人間栄養学科に「栄養教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成17年4月1日）
平成17年 4月 1日	大学院文学研究科の名称を「人間科学研究科」と改称
平成17年 5月16日	独立行政法人大学評価・学位授与機構へ短期大学部専攻科栄養専攻の廃止届出
平成17年 5月30日	短期大学部を廃止
平成17年 7月 6日	人間科学研究科教育学専攻収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成18年4月1日国語学国文学専攻入学定員5名（収容定員10名），英米文学専攻入学定員5名（収容定員10名）の学生募集を停止し，教育学専攻の入学定員10名（収容定員20名），平成19年4月入学定員15名（収容定員30名）とする。
平成18年 3月31日	文学部英文学科を廃止
平成20年 4月 1日	大学院人間科学研究科人間福祉学専攻を開設
平成21年 4月 1日	人間科学部人間言語学科の学生募集停止
平成22年 4月 1日	人間科学部グローバルコミュニケーション学科（入学定員70人，編入学定員5人）を開設
平成24年 4月17日	人間科学部初等教育学科及び人間福祉学科収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成25年4月1日初等教育学科入学定員80名（収容定員320名）を入学定員100名（収容定員400名），人間福祉学科入学定員100名（収容定員440名（編入学40名））を入学定員80名（収容定員360名（編入学40名））に変更
平成27年 3月31日	人間科学部人間言語学科を廃止
平成29年11月28日	人間科学部心理学科及び人間科学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「公認心理師」受験資格を得させるための科目変更届出（適用時期 平成30年4月1日）
平成30年10月 1日	人間科学部初等教育学科の学生募集を停止
平成31年 3月31日	大学院人間科学研究科人間福祉学専攻を廃止

### 3. 設置校及び所在地

<大 学> 広島文教女子大学（広島市安佐北区可部東 1-2-1）  
人間科学部（初等教育学科、人間福祉学科、心理学科、人間栄養学科、  
グローバルコミュニケーション学科）

<大 学 院> 広島文教女子大学大学院（広島市安佐北区可部東 1-2-1）  
人間科学研究科（教育学専攻、人間福祉学専攻）

<高 等 学 校> 広島文教女子大学附属高等学校（広島市安佐北区可部東 1-2-3）  
全日制課程普通科

<幼 稚 園> 広島文教女子大学附属幼稚園（広島市安佐北区可部東 1-1-15）

### 4. 役員

（平成 30 年 4 月 1 日現在、理事定数 11 名、現員 11 名、監事定数 2 名、現員 2 名）

理事（理事長）	武田 義輝	理事（非常勤）	友廣 和典
理事（学長）	森下 要治	理事（非常勤）	児玉 裕志
理事（校長）	梶原 督三	理事（非常勤）	田中 豊實
理事（園長）	栗屋 一枝	理事（非常勤）	大内 良治
理事（学園統括部長）	金本 潔	理事（非常勤）	栗屋 充博
理事（非常勤）	桑原 正彦	監事（非常勤）	久保田宏温
監事（常勤）	大越 藤夫		

## 5. 学生数

大学等における3年間の在籍状況は、次表のとおりです。（各年度5月1日現在）

区 分	平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率
広島文教女子大学	1237	1,666	0.74	1135	1,666	0.68	1150	1,666	0.69
大 学 院	15	36	0.42	11	36	0.31	8	36	0.22
人 間 科 学 部	1222	1,630	0.75	1124	1,630	0.69	1142	1,630	0.70
グローバルコミュニケーション 学 科	126	290	0.43	123	290	0.42	119	290	0.41
初 等 教 育 学 科	495	380	1.30	496	380	1.31	512	400	1.28
人 間 福 祉 学 科	194	380	0.51	151	380	0.40	144	360	0.40
心 理 学 科	116	300	0.39	101	300	0.34	127	300	0.42
人 間 栄 養 学 科	291	280	1.04	253	280	0.90	240	280	0.86
広島文教女子大学 附 属 高 等 学 校	528	540	0.98	520	540	0.96	467	540	0.86
広島文教女子大学 附 属 幼 稚 園	147	160	0.92	132	160	0.83	142	160	0.88
計	1912	2,306	0.83	1787	2,306	0.77	1759	2,306	0.76

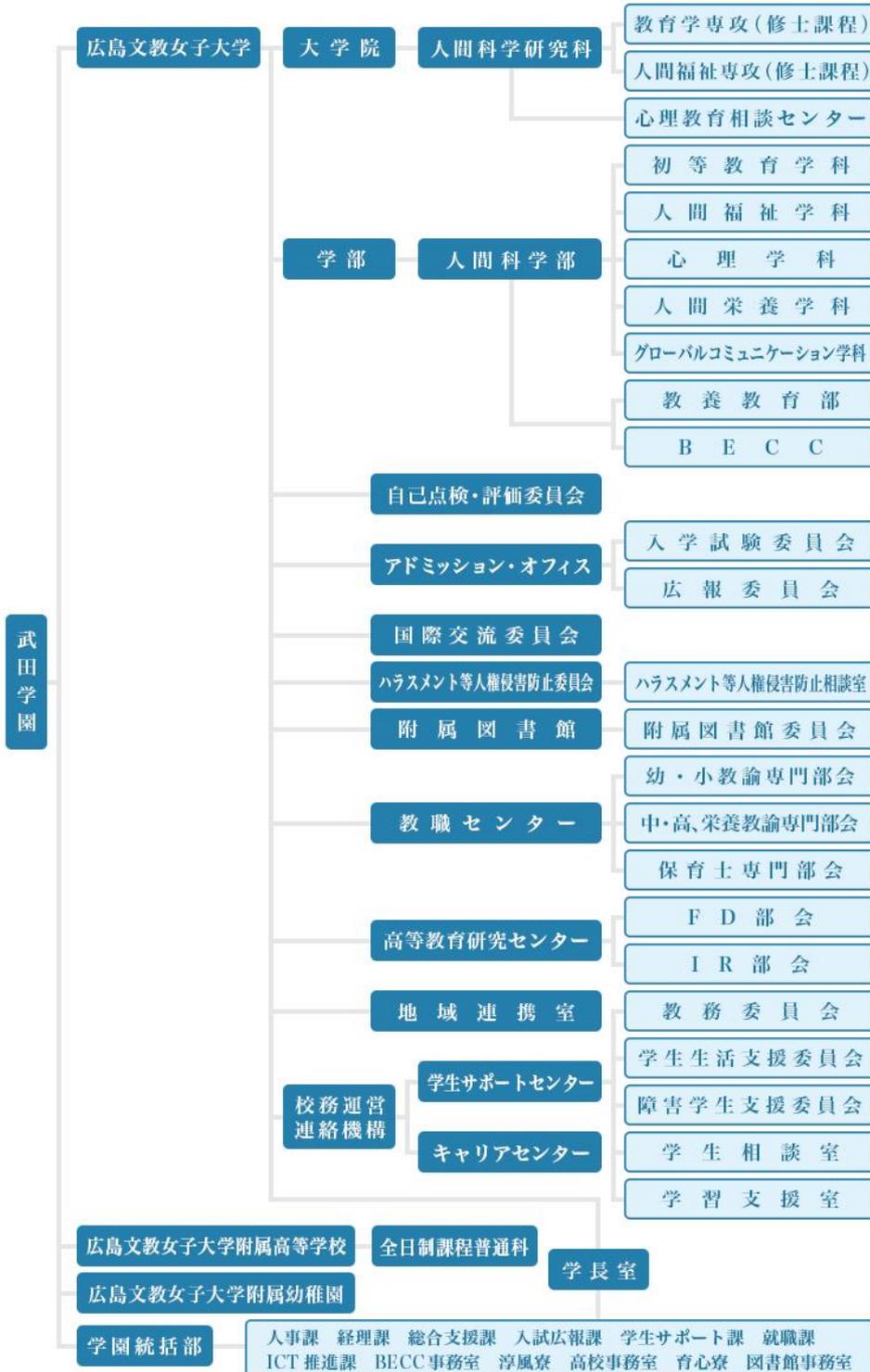
## 6. 教職員数

(各年度5月1日現在)

区 分	平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員
広島文教女子大学	88	89	52	89	80	48	90	76	48
附 属 高 等 学 校	38	16	6	39	14	6	41	8	5
附 属 幼 稚 園	8	9	0	9	7	1	9	4	3
計	134	114	58	137	101	55	140	88	56

7. 組織概要 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

法人組織及び設置する各学校等の組織は、次のとおりです。



## Ⅱ 事業の概要

### 1. 認証評価

広島文教女子大学は、平成 24 年 10 月、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成 19 年に続いて「大学評価基準に適合している。」と平成 25 年 3 月 12 日付けで認定されました。

### 2. 教育研究活動

#### (1) 広島文教女子大学

##### ① 大学ミッション

「わたしたちは、質の高い教育ときめ細かな支援で、学生一人ひとりの成長を後押しし、社会に役立つ人材を育成します。」

##### ② 教育活動

今年度も堅実な教育活動を全学で展開しました。正課内での教育活動はもちろんですが、正課外においても、さまざまな取り組みが見られます。

中でも、人間科学部グローバルコミュニケーション学科の学生の取り組みとして、過去 2 か年連続で受賞対象となった国土交通省主催の「“水のめぐみ” とふれあう水の里の旅コンテスト」には、今年度も応募しました。惜しくも受賞には至りませんでした。こうした教育活動の継続は、本学で行われるプロジェクト型学習が地域課題の解決にも貢献しうる可能性を示しています。アクティブ・ラーニングによる学びの深化が、本学教育の中に着実に根付きつつあります。

このような教育活動の充実を踏まえて、教育学部設置・教職課程認定及び男女共学化に向けた教育課程の再編が行われたことが、今年度の最大のトピックです。昨年来、文部科学省をはじめとする関係各所と調整を図り、計画の実現に向けて準備を進めてきました。平成 30 年 4 月に設置届出を行い、その結果、6 月 29 日付で文部科学省ホームページに受理が公表されました。また教育学部の教職課程については、10 月 16 日付で認定の通知がありました。

これによって、教員・保育士を養成する教育学部での教育活動の充実と、人間科学部各学科の教育活動のさらなる特色化、また男女共学化による新たな活動の展開が期待されるところです。

##### ③ 研究活動

本学の研究活動の成果は、各種学術雑誌の形で公刊されています。「教職センター年報」「対人コミュニケーション研究」「人間福祉研究」「広島文教教育」「広島文教食物栄養研究会誌」「広島文教女子大学研究紀要」「広島文教女子大学高等教育研究」「広島文教女子大学心理学研究」「広島文教グローバル」「文教國文学」等の学術雑誌には、学科を超えた研究活動の成果が掲載され、本学学生や教職員の研究成果の一斑を広く社会に問うています。

また、平成 31 年度の教育学部設置に向けて、今年度から専任の全教員が「研究上の目標シート」を作成し、計画的な研究活動の推進に取り組んでいます。

## (2) 広島文教女子大学附属高等学校

### ① 高等学校ミッション（目指す生徒像）

「われわれは、さらなる教授力の確立に努め、凛としてさやかな知性溢れる生徒を育成します。」

### ② 教育方針

#### ア. 建学の精神に基づいた心の教育の推進

知識と知恵に裏付けされたしなやかな知性を持ち、グローバル社会で生き抜くことができる、誠実さにあふれた生徒を育成します。

#### イ. 学力の向上と進路指導の充実

教員の更なる教授力の向上により、自らが学ぶことに価値を見出し、自学・自習ができ、より高い目標に挑戦する生徒を育成します。

#### ウ. 女性として自立できる教育の実践

さまざまな課題や状況に応じてスピーディかつ的確な判断のもとに、豊かなコミュニケーション能力を備え、他者と協働する中で、解決策を見いだせる生徒を育成します。

### ③ 教育実践

#### ア. 育心育人教育の推進

・広く社会に貢献する、良識やマナーの備わった品格のある人間性を育てるために、学校行事や学校内外でのボランティア活動などにおいて、世代を超えた多くの他者と協働する機会を数多く設けた。

・日常的な HR 指導や生徒会による定期的なあいさつ運動などによって、他者への「敬意」を念頭に置いた振る舞いができる生徒の育成に取り組んだ。

#### イ. 進路実現をめざす学力向上への取り組み

・「探求型」「課題解決型」授業、自ら進んで学習する力を身に付けることができる授業を創造するために、広島大学教育学部教授難波博孝教授のご指導の下、公開研究授業を実施した。あわせて、「主体的・対話的で深い学びを支えることばの力」と題する教員向けの講演会を実施していただき、来るべき大学入学共通テストへの準備に取り組んだ。

・難関国立大学や難関学部を目指している生徒や有名私立大学への進学にも対応できる指導を充実させるために、「文教塾」と称する放課後補習や外部講師による夏期講習会などを実施した。

#### ウ. 女性として自立できる教育の実践

・1年生の実用英語検定・GTEC 全員受験や、語学学校と連携した少人数の英会話授業を実施するなど、世界に通用する語学力を身に付ける「英語の文教」とし

での取組みを精力的に推進した。

・生徒による iPad を活用したプレゼンテーションを学年単位で実施するなど、情報化社会に対応できる資質・能力を身に付けることができる「ICT の文教」としての取組を加速させた。

・創立以来の歴史と伝統を繋ぎながらも、新しい文化の創造をめざし、果敢に挑戦する気概を持った学校にするために、JICA 特別講演会や GSC (グローバルサイエンスキャンパス)への参加など、世界的視野で物事を考える機会を積極的に設けた。

### (3) 広島文教女子大学附属幼稚園

#### ① 幼稚園ミッション

「わたしたちは、モンテッソーリ教育により、園児の豊かな人生の礎となる最高の教育を行います。」

#### ② 教育目標

「心豊かで 社会性に富み 自立した子ども」を育てる

#### ③ 教育方針

建学の精神である「心を育て 人を育てる」を柱として、一人ひとりの園児への個別的な配慮のもと、「ひとりで できた」という体験を積み重ねることにより自立を促し、3つの心「やさしい心」「すこやかな心」「つよい心」を育てています。

#### ④ 教育実践

##### ア. モンテッソーリ教育の保育実践

クラスは満3歳児入園の実施により、年々少、年少、年中、年長の4年齢混合編成です。見て学び、助け合う園生活の全ての場面においてモンテッソーリ教育法を基盤として、自立と社会性を育てています。

クラスでのチャレンジタイム(モンテッソーリ教具を用いた個別の自由選択活動)を通して、選択力や集中力などを高めています。年齢別の分野(音楽・体育・絵画制作)活動においては、発達段階にあわせたモンテッソーリ教育的な情操教育をしています。

##### イ. こころろフレンズ(未就園児保育)

入園前(2歳児)の親子を対象に、モンテッソーリ教育を基盤として幼児の自立を援助する活動を行っています。

##### ウ. なかよしキッズ(預かり保育)

家庭的な雰囲気のもと、外遊びを十分取り入れた保育を行っています。

##### エ. 課外活動の充実

保育後の活動としてサッカー教室、英語教室、書道教室を大学・附属高校の教員、学生、生徒等により行い、また、体育教室を外部団体により実施していま

す。

### 3. 国際交流

#### (1) 広島文教女子大学

今年度からの新たな取り組みとして、8月22日～9月2日の12日間、本学学生6名がベトナムのハノイで就業体験研修に参加しました。現地の日本語学校、IT企業、ホテルでそれぞれ研修に取り組みました。試験的な実施でしたが、今回の実施状況を踏まえつつ、今後の海外での教育活動の拡大・推進を図りたいと考えています。

また、平成28年度から始まった新しい取り組みである「BUNKYO留学フェア2018」が、11月26～28日の3日間、本学の英語学習専用施設（BECC）の1階で実施され、全学生に向けての留学や国際交流に関する情報提供、外部海外留学奨学金制度の紹介と利用促進および留学経験者から留学希望者への情報提供と学生間ネットワークの構築が図られました。

#### (2) 広島文教女子大学附属高等学校

修学旅行の1コースとして、海外ホームステイコースを設定しており、平成30年度は33名がカナダのブリティッシュコロンビア州・ナナイモ市で語学研修とホームステイ（約16日間）を経験しました。また、今年度は6名の生徒がカナダ・ニュージーランド、イギリスに中期留学し、異文化に触れることで積極性が身に付き、より広い視野で物事をとらえられるようになりました。

また、カナダの生徒1名、タイの生徒1名を昨年度8月末から今年度7月末までの1年間受け入れました。スポーツ・カルチャークラスには、中国桂林から生徒1名が入学するなど、異文化交流に積極的に取り組みました。

### 4. 地域連携

#### (1) 広島文教女子大学

広島市の補助金事業である常設オープンスペース「すずらんひろば高陽」の運営にも引き続き取り組み、地域のさまざまな団体と学生をつなぐことにより、子育て支援その他のボランティア活動も積極的に展開できるよう環境整備に努めました。

また、今年度の特筆すべき取り組みとして、平成31年1月11日（金）には、学園統括部プロジェクトとして始まった学生ボランティア活動活性化を図る取り組みの一つとして「2018 学生ボランティア年間活動報告会」をラーニング・コモンズにて開催し、5団体53名の学生の取り組みが紹介されました。学生・教職員が聴衆として参加し、高い意識の下で行われた実践報告をきっかけとして、積極的なコメント交換が行われました。外部講師12人を招いて体験を聴く「人生論」など、地域のキーパーソンに来てもらい、一緒に学ぶ講座も例年どおり開催し、好評を博しています。

このほか、7月の西日本豪雨災害に際しては、復旧ボランティア活動のほか、被災された方への心理サポートや地元企業と連携して被災地区で炊き出しを行うなど、さまざまな活動が展開され、地域復興に実を挙げつつあります。

さらに、広島市安佐北区役所との地域連携協力に関する協定に基づいて、12月20日には本学教職員と同区役所との意見交換会を、また翌21日には同区役所と本学学友会大学祭実行委員との区政車座談義を実施し、地域行政との繋がりも緊密になっています。

## (2) 広島文教女子大学附属高等学校

平成30年度も「ソシオ学校」(教育活動そのものが地域貢献となる活動)を、各クラス・クラブ単位で実施しました。生徒を中心に活動内容を企画し、可部南社会福祉協議会の御協力のもと「文教さくら祭り」を開催したり、学校周辺の美化清掃活動や地域のお祭りやイベントでの手伝いを行うなどしました。また、茶会や演奏によるおもてなし、可部地域の方々との「ふれあい料理教室」など、各クラス・クラブでさまざまな取組みを行いました。

## 5. キャンパス整備

### (1) 広島文教女子大学

#### ① 大学1号館新築

平成31年4月の教育学部設置に向けて、その専用棟となる1号館を新築しました。近年の教育改革の動向を踏まえた最新の設備と、本学伝統の堅実な学びを可視化するためのガラス張りを基調とした開放性を備えています。この専用棟の機能を最大限に活用し、人間科学部初等教育学科と同グローバルコミュニケーション学科とが培ってきた教育実績を、教育学部教育学科が一層飛躍させることが期待されます。

#### ② IR活動の展開

高等教育研究センター内にIR部会を設置し、IR活動の積極的な展開と充実を図っています。

平成29年度に、学生証をICカードに切り換え、iPadを利用した出欠管理システムについて非常勤講師を含めた全教員が使用することにしました。これにより、学生の授業への出席状況の把握を容易にするとともに、出席状況をIR活動に利用しています。

また、IR部会が中心となって学生満足度調査・学修行動調査・学生生活に関するアンケート調査等を実施して、本学の教育活動や学生の学修行動の実態把握を進めています。

これらの調査・分析結果は、学科長会・高等教育研究センター運営委員会等の会議体で報告・共有されるとともに、その概要は学内の研修会にも供され、今後の教

育活動を進める上での基礎資料として活用されることが期待されます。

※IR (institutional research) : 高等教育機関レベルの計画立案や意思決定に有効なデータの分析及び提供を行う組織的活動

③ 基幹サーバーの更新

ICTを活用した教育環境に維持に不可欠な基幹サーバーを平成30年8月に更新しました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

平成30年度の施設整備においては、2号館地下1階に第2職員室とスーパー選抜教室を設置することで、生徒への個別指導や少人数授業に対応できる環境を整えました。また、カウンセラー室を、より気密性の高い場に移設することで、生徒が相談しやすい環境を構築しました。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

男性用トイレを増設し、大人用トイレを男女別化する環境改善をしました。

玄関前駐車場と芋畑をアスファルト化し、安全、快適に使用できる駐車場に再整備しました。

## 6. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況

(1) 広島文教女子大学

平成30年3月卒業生で就職を希望する者の就職率は99.6%でした。

平成30年3月卒業の学年は、一昨年から採用選考開始時期が4年生の6月に繰り下げられています。景気の回復傾向によって採用側の求人件数及び採用者数がさらに高まる中、就職活動スケジュールの前倒しが益々顕著になりました。引続きこれらの学生をとりまく就職環境にあわせて、今年度も次の就職支援と指導等を行いました。

① 小規模大学の強みを活かした個別支援

一人ひとりに向き合う個別支援に重点を置き、きめ細かなサポートを徹底して行いました。個別面談は3・4年生の全員面談（前期/後期）の他、学年に関係なくキャリア・コンサルティング等の個別支援が受けられる体制を整えています。

② キャリアガイダンスの充実

これまで行ってきた年間10数回の就職ガイダンスに加え、業界・企業研究の一環として、研究全学年を対象とした「職場見学バスツアー」を新たに実施しました。今回は、2社の多大なるご理解とご協力のもと、3年生20名をはじめ、業界研究に積極的な2年生4名及び1年生3名の計27名が参加しました。学生たちの中には、航空業界や食品製造に興味をもち、具体的な研究を目的としていた者はもちろん、働くということとはどんなことなのかという根源的な問いを持つ者

や業界に興味があったからといった動機をもった者まで、様々な思いをもつ学生が参加しました。

③ スタッフの能力開発

学生の支援・指導等にあたるスタッフの能力開発を継続しました。毎月の課内研修に加えて各自が自己研鑽に励んだ結果、2名のうち、1名はメンタルヘルスマネジメントⅢ種、もう1名は労務管理3級を取得しました。今後もこれまでに取得した資格とを併せて、学生との面談の際に生かしてまいります。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

本校では、志を高く持ち、その実現を目指して日々の学校生活に主体的に取り組むよう指導を行っています。大学見学や模擬授業、附属幼稚園観察実習、一日看護体験実習など、夢を現実に変えるための取組みを精力的に企画・実施しています。センター試験・二次試験に対応できる学力を養成する放課後の「文教塾」や個別指導、組織的な小論文・面接指導など、生徒の希望する進路の実現に向けてさまざまな取組みを実施しました。

本校の卒業生の進路は、次の表に示すようにほとんどが進学です。近年は国公立大学・難関私立大学への進学希望・合格実績も増加しており、平成30年度は国公立大学には7名が合格しました。難関私大への合格者数も着実に増えており、これまでの取組みが形として表れ始めています。広島文教大学への進学志望者も多く、約18%が進学しています。

平成31年度入試 合格状況

	学校	学部	学科(コース)	合格者数
国公立(7名)	広島大学	法	法	1
	島根大学	生物資源	農林生産	2
	県立広島大学	経営情報	経営	1
		人間文化	国際文化	1
		生命環境	生命科学	1
	公立鳥取環境大学	環境	環境	1
県外私立大学(21名)	早稲田大	法		1
	明治大	法	法律	1
	法政大	法	法律	1
	同志社大学	経済	経済	1
		文	英文	1
		法	法律	1
	立命館大学	理工	数理科学	1

	順天堂大学	スポーツ	スポーツ科	1
	中京大学	スポーツ		1
	福岡大学	スポーツ	スポーツ科	1
	京都女子大	文	英文	1
	高千穂大	商	商	1
	ヤマザキ動物大学	動物看護	動物看護	1
	静岡産業大学	スポーツ	スポーツ経営	1
	明治国際医療大学	看護	看護	1
	大阪芸術大学	芸術	芸術計画	1
	大阪体育大学	体育	スポーツ教育	1
	帝塚山学院大学	リベラル	リベラルアーツ	1
	岡山理科大学	理	化学	1
			基礎理	1
	徳山大学	経済	ビジ／ビジネ	1
広島文教(32名)	広島文教大学	教育	教育／初等教	7
		人間科学	グローバルコ	6
			人間福祉	10
			心理	2
			人間栄養	7
県内私立大学(72名)	エリザベト音楽大学	音楽	音楽文化	2
	広島文化学園大学	学芸	子ども	4
			音楽	2
	比治山大学	看護	看護	5
			現代文化	社会臨床心理
				子ども発達
	広島工業大学	健康栄養	管理栄養	1
		工	環境土木工	4
		環境	建築デザイン	1
		情報	知的情報シス	1
	広島修道大学	人文	英語英文	2
		商	経営	1
			商	2
		経済科学	現代経済	1
経済情報			1	
国際コミ		国際政治	1	
人間環境	人間環境	2		

	広島女学院大学	人文	国際英語	2
		人間生活	生活デザイン	3
			児童教育	1
	日赤広島看護大学	看護	看護	1
	広島都市学園大学	健康科学	看護	3
			作業療法	1
		子ども教育	子ども教育	1
	安田女子大学	文	英語英米文	3
			日本文	1
			書道	1
		心理	現代心理	2
			ビジネス心理	1
		看護	看護	1
		家政	生活デザイン	4
	管理栄養		1	
造形デザイン	4			
広島国際大学	医療経営	医療経営	2	
	薬	薬	1	
	看護	看護	3	
	総合リハ	リハビリ支援	2	
	医療栄養	医療栄養	2	
私立短期大学(14名)	大阪国際大学	短期大	幼児保育	1
	比治山大学	短期大	美術	2
			幼児教育	2
			総合生活デザ	1
	広島文化学園短期大学		保育	1
			食物栄養	2
コミュニティ			1	
安田女子短期大学		保育	3	
山陽女子短期大学		臨床検査	1	
専門学校・就職(39名)	呉共済病院看護専門学校			1
	広島市立看護専門学校		第一看護	2
	岩国 YMCA 専門学校		保健看護	1
	香川看護専門学校		第一看護	1
	旭川荘厚生専門学院		看護	1
	リハビリテーションカレッジ島根		言語聴覚	1

広島医療保健専門学校		理学療法	1
朝日医療専門学校		鍼灸	1
大阪ハイテクノロジー専門学校		柔道整復スポーツ	1
広島デンタルアカデミー専門学校		歯科衛生士	2
日本航空専門学校		航空技術科	1
履正社医療スポーツ専門学校		スポーツ	1
ECC アーティスト美容専門学校		ヘアメイクアーティスト	1
大阪医療秘書福祉専門学校		薬アドバイザー科	1
大阪リゾート&スポーツ専門学校		スポーツ保育科	1
インターナショナルエアアカデミー		留学コース	1
穴吹デザイン専門学校		グラフィックデザイン	1
広島美容専門学校		トータルビューティ科	1
広島製菓専門学校		洋菓子	3
広島医療秘書こども専門学校		こども総合	1
広島YMCA 専門学校		ホスピタリティ科	1
広島会計学院専門学校		会計	1
広島情報ビジネス専門学校		総合ビジネス科	4
広島外語専門学校		総合英語	1
		米国留学	1
総合学園ヒューマンアカデミー		マンガカレッジ	1
広島アニマルケア専門学校		動物管理学科専攻科	1
文化服装学院		ファッション工科基礎 科	1
広島県立農業技術大学校		園芸課程	1
エンゼルペットアカデミー		ペット科	1
代々木アニメーション学院			1
株式会社フランス屋			1

Ⅲ.財務の概要 (平成30年度決算状況)

1. 財産目録

財産目録(平成31年3月31日現在)		
<b>I 資産総額</b>		<b>12,315,860,484 円</b>
内 基本財産		9,225,710,162 円
運用財産		3,090,150,322 円
収益事業用財産		－ 円
<b>II 負債総額</b>		<b>2,068,770,798 円</b>
<b>III 正味財産</b>		<b>10,247,089,686 円</b>
区 分		金 額
資産額		
1 基本財産		
土地	151,248㎡	2,757,131,640 円
建物	48,185㎡	4,705,570,072 円
図書	257,940冊	1,128,253,510 円
教具・校具・備品	18,430点	234,740,840 円
その他		400,014,100 円
2 運用財産		
現金預金		2,208,693,977 円
その他		881,456,345 円
3 収益事業用財産		
		－ 円
<b>資産総額</b>		<b>12,315,860,484 円</b>
負債額		
1 固定負債		
長期借入金		1,139,785,000 円
退職給与引当金		372,598,183 円
2 流動負債		
短期借入金		10,020,000 円
未払金		10,231,571 円
前受金		511,663,000 円
預り金		24,473,044 円
<b>負債総額</b>		<b>2,068,770,798 円</b>
<b>正味財産(資産総額－負債総額)</b>		<b>10,247,089,686 円</b>

## 2. 貸借対照表

貸借対照表については、次表のとおりです。

### 貸借対照表

平成31年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	( 9,647,153,649 )	( 8,284,532,859 )	( 1,362,620,790 )
有形固定資産	< 9,354,890,694 >	< 7,998,561,314 >	< 1,356,329,380 >
土地	2,886,312,172	2,886,312,172	0
建物	4,705,570,072	3,463,259,181	1,242,310,891
構築物	384,224,615	348,521,152	35,703,463
教育研究用機器備品	234,740,840	118,626,703	116,114,137
管理用機器備品	15,489,003	17,954,501	△ 2,465,498
図書	1,128,253,510	1,118,768,188	9,485,322
車両	300,482	2,013,017	△ 1,712,535
建設仮勘定	0	43,106,400	△ 43,106,400
特定資産	< 276,500,000 >	< 276,000,000 >	< 500,000 >
退職給与引当特定資産	220,000,000	220,000,000	0
第3号基本金引当特定資産	56,500,000	56,000,000	500,000
その他の固定資産	< 15,762,955 >	< 9,971,545 >	< 5,791,410 >
電話加入権	1,828,300	1,828,300	0
施設利用権	2,279,774	2,695,770	△ 415,996
ソフトウェア	4,155,107	2,989,805	1,165,302
出資金	6,020,904	738,800	5,282,104
長期貸付金	1,200,000	1,440,000	△ 240,000
敷金	155,400	155,400	0
預託金	123,470	123,470	0
流動資産	( 2,668,706,835 )	( 2,921,986,991 )	( △ 253,280,156 )
現金預金	2,208,693,977	2,857,397,361	△ 648,703,384
未収入金	420,751,468	36,097,389	384,654,079
貯蔵品	1,630,328	1,667,258	△ 36,930
仮払金	769,322	725,373	43,949
立替金	12,286,634	99,080	12,187,554
前払金	24,575,106	26,000,530	△ 1,425,424
資産の部合計	12,315,860,484	11,206,519,850	1,109,340,634

(単位 円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	( 1,512,383,183 )	( 572,736,239 )	( 939,646,944 )
長期借入金	1,139,785,000	185,805,000	953,980,000
退職給与引当金	372,598,183	386,931,239	△ 14,333,056
流動負債	( 556,387,615 )	( 572,536,407 )	( △ 16,148,792 )
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
未払金	10,231,571	105,257,337	△ 95,025,766
前受金	511,663,000	430,164,000	81,499,000
預り金	24,473,044	27,095,070	△ 2,622,026
負債の部合計	2,068,770,798	1,145,272,646	923,498,152
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	( 16,467,376,475 )	( 16,240,178,592 )	( 227,197,883 )
第1号基本金	16,240,876,475	16,014,178,592	226,697,883
第3号基本金	56,500,000	56,000,000	500,000
第4号基本金	170,000,000	170,000,000	0
繰越収支差額	( △ 6,220,286,789 )	( △ 6,178,931,388 )	( △ 41,355,401 )
翌年度繰越収支差額	△ 6,220,286,789	△ 6,178,931,388	△ 41,355,401
純資産の部合計	10,247,089,686	10,061,247,204	185,842,482
負債及び純資産の部合計	12,315,860,484	11,206,519,850	1,109,340,634

### 3. 収支計算書

#### (1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、次表のとおりです。

#### 資金収支計算書

平成30年 4月 1日 から  
平成31年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部	予 算	決 算	差 異
収入の部			
科 目			
学生生徒等納付金収入	( 1,572,298,000 )	( 1,551,635,135 )	( 20,662,865 )
授業料収入	1,117,160,000	1,099,866,950	17,293,050
入学金収入	104,160,000	107,950,000	△ 3,790,000
入学手続金収入	32,690,000	27,090,000	5,600,000
実験実習料収入	14,050,000	12,426,185	1,623,815
施設設備資金収入	304,238,000	304,302,000	△ 64,000
手数料収入	( 25,750,000 )	( 36,856,376 )	( △ 11,106,376 )
入学検定料収入	21,900,000	33,219,000	△ 11,319,000
試験料収入	350,000	284,000	66,000
証明手数料収入	900,000	641,800	258,200
大学入試センター試験実施手数料収入	2,600,000	2,711,576	△ 111,576
寄付金収入	( 1,000,000 )	( 878,000 )	( 122,000 )
特別寄付金収入	560,000	560,000	0
一般寄付金収入	440,000	318,000	122,000
補助金収入	( 389,374,000 )	( 799,895,720 )	( △ 410,521,720 )
国庫補助金収入	144,800,000	543,912,000	△ 399,112,000
地方公共団体補助金収入	244,574,000	255,983,720	△ 11,409,720
資産売却収入	( 0 )	( 0 )	( 0 )
付随事業・収益事業収入	( 139,500,000 )	( 162,519,401 )	( △ 23,019,401 )
補助活動収入	138,000,000	160,695,401	△ 22,695,401
免許状更新講習料収入	1,500,000	1,674,000	△ 174,000
共同研究収入	0	150,000	△ 150,000
受取利息・配当金収入	( 6,240,330 )	( 3,787,038 )	( 2,453,292 )
その他の受取利息・配当金収入	6,240,330	3,787,038	2,453,292
雑収入	( 22,600,060 )	( 32,784,999 )	( △ 10,184,939 )
施設設備利用料収入	955,000	1,331,140	△ 376,140
地代収入	748,060	746,588	1,472
私立大学退職金財団交付金収入	16,500,000	19,320,800	△ 2,820,800
広島県私学振興財団等交付金収入	500,000	1,071,450	△ 571,450
廃品売却収入	50,000	140,055	△ 90,055
研究関連収入	500,000	738,000	△ 238,000
損害保険金収入	0	2,160,832	△ 2,160,832
その他の雑収入	3,347,000	7,206,134	△ 3,859,134
過年度修正収入	0	70,000	△ 70,000
借入金等収入	( 1,000,000,000 )	( 964,000,000 )	( 36,000,000 )
長期借入金収入	1,000,000,000	964,000,000	36,000,000
前受金収入	( 414,724,500 )	( 511,663,000 )	( △ 96,938,500 )
授業料前受金収入	250,000,000	248,425,000	1,575,000
入学金前受金収入	90,000,000	132,655,000	△ 42,655,000
入学手続金前受金収入	0	21,490,000	△ 21,490,000
施設設備資金前受金収入	65,000,000	87,075,000	△ 22,075,000
補助活動前受金収入	9,600,000	21,897,000	△ 12,297,000
その他の雑収入前受金収入	124,500	121,000	3,500
その他の収入	( 38,337,389 )	( 38,294,517 )	( 42,872 )
前期末未収入金収入	36,097,389	35,976,669	120,720
長期貸付金回収収入	240,000	240,000	0
預り金受入収入	900,000	0	900,000
立替金回収収入	1,100,000	2,077,848	△ 977,848
資金収入調整勘定	( △ 526,164,000 )	( △ 852,470,468 )	( 326,306,468 )
期末未収入金	△ 96,000,000	△ 422,306,468	326,306,468
前期末前受金	△ 430,164,000	△ 430,164,000	0
前年度繰越支払資金	( 2,857,397,361 )	( 2,857,397,361 )	
収入の部合計	5,941,057,640	6,107,241,079	△ 166,183,439

(単位 円)

支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出		( 1,400,590,000 )	( 1,340,739,675 )	( 59,850,325 )
	教員人件費支出	1,046,960,000	1,016,987,382	29,972,618
	職員人件費支出	315,930,000	283,617,688	32,312,312
	役員報酬支出	19,700,000	18,909,369	790,631
	退職金支出	18,000,000	21,225,236	△ 3,225,236
教育研究経費支出		( 426,000,000 )	( 425,300,422 )	( 699,578 )
	旅費交通費支出	23,050,000	20,031,113	3,018,887
	福利費支出	220,000	232,085	△ 12,085
	消耗品費支出	75,490,000	59,838,060	15,651,940
	燃料費支出	600,000	1,136,285	△ 536,285
	印刷製本費支出	13,120,000	15,503,897	△ 2,383,897
	光熱水費支出	58,300,000	56,121,230	2,178,770
	修繕費支出	77,320,000	77,021,634	298,366
	通信運搬費支出	19,500,000	38,645,813	△ 19,145,813
	保険料支出	4,100,000	4,084,563	15,437
	公租公課支出	600,000	953,872	△ 353,872
	負担金支出	32,400,000	48,501,591	△ 16,101,591
	会議費支出	210,000	127,941	82,059
	奨学費支出	83,400,000	71,097,026	12,302,974
	保健衛生費支出	10,120,000	12,477,376	△ 2,357,376
	貸借料支出	9,890,000	6,690,283	3,199,717
	講師謝礼支出	3,600,000	2,590,587	1,009,413
	海外研修費支出	4,000,000	1,187,541	2,812,459
	雑費支出	10,080,000	9,059,525	1,020,475
管理経費支出		( 468,000,000 )	( 400,168,661 )	( 67,831,339 )
	報償費支出	6,060,000	7,314,310	△ 1,254,310
	旅費交通費支出	23,080,000	18,397,243	4,682,757
	交際費支出	780,000	786,185	△ 6,185
	福利費支出	3,930,000	3,960,668	△ 30,668
	消耗品費支出	30,100,000	13,907,240	16,192,760
	燃料費支出	745,000	0	745,000
	印刷製本費支出	17,070,000	22,372,037	△ 5,302,037
	光熱水費支出	915,000	941,437	△ 26,437
	修繕費支出	12,400,000	1,758,908	10,641,092
	通信運搬費支出	4,370,000	10,758,214	△ 6,388,214
	保険料支出	240,000	217,514	22,486
	公租公課支出	4,770,000	2,729,578	2,040,422
	負担金支出	19,700,000	27,907,463	△ 8,207,463
	会議費支出	130,000	25,411	104,589
	広告費支出	218,150,000	110,067,256	108,082,744
	保健衛生費支出	290,000	120,316	169,684
	貸借料支出	6,100,000	4,486,480	1,613,520
	講師謝礼支出	100,000	0	100,000
	雑費支出	1,720,000	2,323,252	△ 603,252
	補助活動仕入支出	116,350,000	171,819,149	△ 55,469,149
	私立大学等経常費補助金返還金支出	1,000,000	276,000	724,000
借入金等利息支出		( 1,800,000 )	( 949,606 )	( 850,394 )
	借入金利息支出	1,800,000	949,606	850,394
借入金等返済支出		( 10,020,000 )	( 10,020,000 )	( 0 )
	借入金返済支出	10,020,000	10,020,000	0
施設関係支出		( 1,778,200,000 )	( 1,426,249,430 )	( 351,950,570 )
	建物支出	1,559,000,000	1,359,342,006	199,657,994
	構築物支出	5,000,000	66,907,424	△ 61,907,424
	建設仮勘定支出	214,200,000	0	214,200,000
設備関係支出		( 136,000,000 )	( 178,805,485 )	( △ 42,805,485 )
	教育研究用機器備品支出	121,100,000	165,921,936	△ 44,821,936
	管理用機器備品支出	5,600,000	1,116,643	4,483,357
	図書支出	9,300,000	8,706,925	593,075
	ソフトウェア支出	0	3,059,981	△ 3,059,981
資産運用支出		( 6,025,000 )	( 5,782,104 )	( 242,896 )

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
出資金支出	5,525,000	5,282,104	242,896
第3号基本金引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0
その他の支出	( 134,267,337 )	( 146,763,820 )	( △ 12,496,483 )
預託金支出	10,000	0	10,000
前期末未払金支払支出	105,257,337	105,257,337	0
前払金支払支出	9,000,000	24,575,106	△ 15,575,106
立替金支払支出	0	14,265,402	△ 14,265,402
仮払金支払支出	20,000,000	43,949	19,956,051
預り金支払支出	0	2,622,026	△ 2,622,026
[予備費]	( 50,000,000 )		
	0		0
資金支出調整勘定	( △ 84,000,530 )	( △ 36,232,101 )	( △ 47,768,429 )
期末未払金	△ 58,000,000	△ 10,231,571	△ 47,768,429
前期末前払金	△ 26,000,530	△ 26,000,530	0
翌年度繰越支払資金	( 1,664,155,833 )	( 2,208,693,977 )	( △ 544,538,144 )
支出の部合計	5,941,057,640	6,107,241,079	△ 166,183,439

## (2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、次表のとおりです。

## 事業活動収支計算書

平成30年 4月 1日 から  
平成31年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	( 1,572,298,000 )	( 1,551,635,135 )	( 20,662,865 )
授業料	1,117,160,000	1,099,866,950	17,293,050
入学金	104,160,000	107,950,000	△ 3,790,000
入学手続金	32,690,000	27,090,000	5,600,000
実験実習料	14,050,000	12,426,185	1,623,815
施設設備資金	304,238,000	304,302,000	△ 64,000
手数料	( 25,750,000 )	( 36,856,376 )	( △ 11,106,376 )
入学検定料	21,900,000	33,219,000	△ 11,319,000
試験料	350,000	284,000	66,000
証明手数料	900,000	641,800	258,200
大学入試センター試験実施手数料	2,600,000	2,711,576	△ 111,576
寄付金	( 1,200,000 )	( 878,000 )	( 322,000 )
特別寄付金	560,000	560,000	0
一般寄付金	440,000	318,000	122,000
現物寄付	200,000	0	200,000
経常費等補助金	( 388,574,000 )	( 394,200,720 )	( △ 5,626,720 )
国庫補助金	144,000,000	138,217,000	5,783,000
地方公共団体補助金	244,574,000	255,983,720	△ 11,409,720
付随事業収入	( 139,500,000 )	( 162,519,401 )	( △ 23,019,401 )
補助活動収入	138,000,000	160,695,401	△ 22,695,401
免許状更新講習料	1,500,000	1,674,000	△ 174,000
共同研究収入	0	150,000	△ 150,000
雑収入	( 22,600,060 )	( 35,087,327 )	( △ 12,487,267 )
施設設備利用料	955,000	1,331,140	△ 376,140
地代	748,060	746,588	1,472
私立大学退職金財団交付金	16,500,000	19,320,800	△ 2,820,800
広島県私学振興財団等交付金	500,000	1,071,450	△ 571,450
廃品売却収入	50,000	140,055	△ 90,055
研究関連収入	500,000	738,000	△ 238,000
損害保険金収入	0	2,160,832	△ 2,160,832
退職給与引当金戻入額	0	2,372,328	△ 2,372,328
その他の雑収入	3,347,000	7,206,134	△ 3,859,134
教育活動収入計	2,149,922,060	2,181,176,959	△ 31,254,899

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	( 1,425,290,000 )	( 1,328,778,947 )	( 96,511,053 )
教員人件費	1,046,960,000	1,016,987,382	29,972,618
職員人件費	315,930,000	283,617,688	32,312,312
役員報酬	39,400,000	18,909,369	20,490,631
退職金	18,000,000	752,732	17,247,268
退職給与引当金繰入額	5,000,000	8,511,776	△ 3,511,776
教育研究経費	( 647,797,486 )	( 651,690,646 )	( △ 3,893,160 )
旅費交通費	23,050,000	20,031,113	3,018,887
福利費	220,000	232,085	△ 12,085
消耗品費	75,490,000	59,447,194	16,042,806
燃料費	600,000	1,136,285	△ 536,285
印刷製本費	13,120,000	15,503,897	△ 2,383,897
光熱水費	58,300,000	56,121,230	2,178,770
修繕費	77,320,000	77,021,634	298,366
通信運搬費	19,500,000	38,364,207	△ 18,864,207
保険料	4,100,000	4,084,563	15,437
公租公課	600,000	953,872	△ 353,872
負担金	32,400,000	48,501,591	△ 16,101,591
会議費	210,000	127,941	82,059
奨学費	83,400,000	71,097,026	12,302,974
保健衛生費	10,120,000	12,477,376	△ 2,357,376
賃借料	9,890,000	6,690,283	3,199,717
講師謝礼	3,600,000	2,590,587	1,009,413
海外研修費	4,000,000	1,187,541	2,812,459
減価償却額	221,797,486	227,062,696	△ 5,265,210
雑費	10,080,000	9,059,525	1,020,475
管理経費	( 489,730,747 )	( 423,045,491 )	( 66,685,256 )
報償費	6,060,000	7,314,310	△ 1,254,310
旅費交通費	23,080,000	18,397,243	4,682,757
交際費	780,000	786,185	△ 6,185
福利費	3,930,000	3,960,668	△ 30,668
消耗品費	30,100,000	14,366,740	15,733,260
燃料費	745,000	0	745,000
印刷製本費	17,070,000	22,372,037	△ 5,302,037
光熱水費	915,000	941,437	△ 26,437
修繕費	12,400,000	1,758,908	10,641,092
通信運搬費	4,370,000	10,759,189	△ 6,389,189
保険料	240,000	217,514	22,486
公租公課	4,770,000	2,731,378	2,038,622
負担金	19,700,000	27,907,463	△ 8,207,463
会議費	130,000	25,411	104,589
広告費	218,150,000	110,074,907	108,075,093
保健衛生費	290,000	120,316	169,684
賃借料	6,100,000	4,486,480	1,613,520
講師謝礼	100,000	0	100,000
雑費	1,720,000	2,323,252	△ 603,252
補助活動収入原価	116,350,000	172,058,625	△ 55,708,625
減価償却額	21,730,747	22,167,428	△ 436,681
私立大学等経常費補助金返還金	1,000,000	276,000	724,000
徴収不能額等	( 1,165,720 )	( 1,675,720 )	( △ 510,000 )
徴収不能引当金繰入額	1,165,720	1,675,720	△ 510,000
教育活動支出計	2,563,983,953	2,405,190,804	158,793,149
教育活動収支差額	△ 414,061,893	△ 224,013,845	△ 190,048,048

事業活動支出の部  
教育活動収支

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	( 6,240,330 )	( 3,787,038 )	( 2,453,292 )
	その他の受取利息・配当金	6,240,330	3,787,038	2,453,292
	その他の教育活動外収入	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	教育活動外収入計	6,240,330	3,787,038	2,453,292
事業活動支出の部	借入金等利息	( 1,800,000 )	( 949,606 )	( 850,394 )
	借入金利息	1,800,000	949,606	850,394
	その他の教育活動外支出	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	教育活動外支出計	1,800,000	949,606	850,394
	教育活動外収支差額	4,440,330	2,837,432	1,602,898
	経常収支差額	△ 409,621,563	△ 221,176,413	△ 188,445,150

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	資産売却差額	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	その他の特別収入	( 800,000 )	( 407,982,876 )	( △ 407,182,876 )
	現物寄付	0	2,217,876	△ 2,217,876
	施設設備補助金	800,000	405,695,000	△ 404,895,000
	過年度修正額	0	70,000	△ 70,000
	特別収入計	800,000	407,982,876	△ 407,182,876
事業活動支出の部	資産処分差額	( 500,015 )	( 963,981 )	( △ 463,966 )
	施設処分差額	15	0	15
	設備除却差額	500,000	963,981	△ 463,981
	その他の特別支出	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	特別支出計	500,015	963,981	△ 463,966
	特別収支差額	299,985	407,018,895	△ 406,718,910
	[予備費]	( 50,000,000 )		0
	基本金組入前当年度収支差額	△ 409,321,578	185,842,482	△ 595,164,060
	基本金組入額合計	△ 1,701,000,000	△ 229,137,212	△ 1,471,862,788
	当年度収支差額	△ 2,110,321,578	△ 43,294,730	△ 2,067,026,848
	前年度繰越収支差額	△ 5,892,067,551	△ 6,178,931,388	286,863,837
	基本金取崩額	0	1,939,329	△ 1,939,329
	翌年度繰越収支差額	△ 8,002,389,129	△ 6,220,286,789	△ 1,782,102,340
	(参考)			
	事業活動収入計	2,156,962,390	2,592,946,873	△ 435,984,483
	事業活動支出計	2,566,283,968	2,407,104,391	159,179,577

# 監事監査報告書

令和元(2019)年5月30日

学校法人 武田学園

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人 武田学園

監事 久保田宏温   
監事 大哉 弘只 

私たちは、学校法人武田学園の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人武田学園寄附行為第16条の規程に従い、同学園の平成30年度（平成30(2018)年4月1日から平成31(2019)年3月31日まで）における業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監査にあたり、学校法人武田学園監事監査計画により理事会、評議員会及び常任理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な書類を閲覧しました。また、会計監査人の実施する会計監査に立ち会うとともに内部監査委員会と連携し、必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人武田学園の平成30年度における業務は適正であり、計算書類すなわち資金収支計算書(人件費支出内訳書を含む。)、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)は、当該年度末における財産の状況を適切に表示しており、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上